



ナンバーワンとオンリーワン

今年も残すところひと月となりました。ニュースなどでは、平野部でも紅葉が見頃を迎えたことを知らせています。目に見える季節の美しさや移り変わりを感じるとともに、平年よりも遅い時期となったこの報道に気候変動に対する憂いも頭をよぎります。

このようななか、いよいよ学期末を迎えました。2学期のまとめとして学びと生活を振り返り、新しい年につなげていけるよう、子どもたちに働きかけていきたいと思えます。

さて、先日、知り合いと教育における比較や競争の必要性について話していたときに、みなさんよくご存じの「世界に一つだけの花」の歌詞が話題になりました。とりわけ「ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン」という部分についてです。そのとき、「ナンバーワンにならなくてもいい…」ということが、競争そのものを否定しているのか、いないのかということについて、知り合いと私では若干意見が分かれました。「結果としてナンバーワンにならなくてもいいと言っているのだから、ナンバーワンを目指さなくてもいいとは言っていない」とか、「いやいや、にならなくてもいいも、目指さなくてもいいも同じことでしょ」など、歌詞の解釈論で話が横道にそれてしまいそうでしたが、二人とも、適切・適度な比較や競争は学校教育においても必要だ、という点で一致しました。

もちろん、比較や競争が必要だということが「特別なオンリーワン」を否定しているわけではなく、「ナンバーワンにならなくてもいい」という考え方もあってよいと思っています。そもそも、人は生まれたときから特別な存在ですし、ありのままの自分を受容する自己肯定感生きる力の根幹をなすものであると思えます。ただ、それが教育における比較や競争を排除する根拠とはならないとも考えています。

あたり前ですが、人は人とのかかわりのなかで育っていきます。そのかかわりのなかで比較や競争という場面も存在し、そこで生じる他との違いの自覚が成長へのエネルギーを生み出すこともあると思えます。加えて、他との比較や競争以上に重要なのは、以前の自分との比較や競争ではないでしょうか。超えようとするのは過去の自分であり、その挑戦や努力の中で自分自身の成長を感じることも自己肯定感をはぐくむことになると思えます。「自分は特別なオンリーワンだ」もよいですが、自分に存在する未熟で弱い自分と闘いながら、自分のなかのナンバーワンを目指すこどもの姿もとても素敵だと考えています。

新しい年を迎えるにあたり、あらためて大府小学校の教育活動を振り返ったとき、ナンバーワンもオンリーワンも大切にできていただろうか、深く反省するばかりであります。この反省を教育活動の改善につなげていきたいと思えます。

最後になりましたが、令和6年にいただきましたあたたかいご支援に深く感謝するとともに、新しい年も保護者、地域の皆様の変わらぬお支えをいただきますよう、何とぞよろしく願いいたします。

(校長 伴 浩人)



11/22 6年：プロの音楽家（チェロ&ピアノ）とのリコーダーセッション「いつも何度でも」



11/30 とうちゃんず：運動場東壁面の修復作業
H20年度卒業制作の修復作業を行いました

11月1日～12月2日

⇒

本日12/2より縄跳び月間です～1/9



11/11 各種表彰
「おめでとうございます」

乾先生もパラリフィング大会3位で表彰



11/10 駅前花植ボランティアの様子。協力して頑張りました。



体育館前のPTA花壇は、ハロウィーンからクリスマスに変わりました。

11/13「おおぶっ子発表会」児童相互鑑賞の様子
6年枕草子：扇子や琴等を使い情緒豊かな発表

おおぶっ子発表会スローガン

「届けよう 輝く舞台 あふれる努力」



11/16 おおぶっ子発表会では、多数のご来場、ありがとうございました。

☆ 学校評価について

令和6年度の学校評価（学校をよりよくするためのアンケート）を11月22日付けで紙媒体で配付いたしました。現在、約400名の方々にご回答をいただいております。まだご回答いただけていない方は、本日、12月2日までにGoogleフォームでご回答願います。学校評価のまとめを今年度中にお知らせし、次年度の学校経営に生かしていきます。ご多用のところ申し訳ございませんが、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

☆ PTA委員経歴等の調査

12月10日（火）に「大府小PTA委員経歴等の調査について」の文書をこどもさんを通じて、紙媒体で配付させていただきます（新2～6年生対象）。新1年生用でご回答された方も、本調査は新2年生～新6年生用ですので、ご回答いただくこととなります。詳細は10日に配信する文書をご確認願います。よろしくお願いいたします。